

# 第4次徳島県住生活基本計画のポイント



## 住生活を取り巻く課題

- 人口減少・少子高齢化の進行
- 世帯数の増加を上回る住宅ストック数の増加  
⇒ それに伴い「空き家」数も増加

**ポイント** これまでにな  
大きな社会情勢の変化

- 「新型コロナウイルス」の感染拡大
- 「気候変動」による影響の顕在化

## 基本的な方針

- 社会情勢が大きく変化している中、  
**「県として重点的に取り組む施策(テーマ)」を示す**とともに、きめ細やかなPDCAサイクルにより施策を推進

### テーマ1:「新たな日常」への対応

**目標** 住みたい空間を自由に  
選択・活用することを可能にする

- ・ 新型コロナの影響等により発生した  
ニーズに適応するためのリフォームを促進
- ・ 既存ストックを最大限に活用しつつ、  
「地方移住」等に資する住まい確保を促進

**目標** 新たな技術でこれまでの課題を  
解決することを可能にする

- ・ 「非接触型の暮らし」等の実現に  
「デジタル技術」をはじめ革新技術を活用
- ・ 新たな建築技術に精通した  
「未来志向」の建築士や施工者等を養成



革新的な「デジタル技術」の普及



### テーマ2:「カーボンニュートラル」への貢献

**目標** 建物を長く使いこなし、  
継承していくことを可能にする

- ・ 住宅が長く住み継がれていくよう、  
市場流通等による「長寿命化」を促進
- ・ 「地域再生」の拠点等として、  
空き家・空き建築物の有効活用を促進

**目標** 意義やメリットを感じながら、  
環境に優しい建物に住むことを可能にする

- ・ 健康リスクの低減等にも資する  
断熱性能・省エネルギー性能の向上を促進
- ・ CO<sub>2</sub>の排出抑制に優れる「木材」利用が  
進むよう、「木造化・木質化」を促進



### テーマ3:「住まいのレジリエンス」の確保

**目標** 災害にしっかりと備え、  
命を守ることを可能にする

- ・ まずは命を守る「減災」の視点も採り入れ、  
県民一人ひとりに寄り添った地震対策を推進
- ・ 災害時の円滑な避難・救援活動に資する  
ソフト・ハード両面からの災害対策を促進

**目標** いつ何時も安心して  
暮らし続けることを可能にする

- ・ 人口減少や民間空き家の増加も考慮した  
公営住宅の「戦略的な維持管理」を推進
- ・ 「既存ストック」を最大限に活用し、  
災害時にも、柔軟・重層的に住まいを確保



県民一人ひとりに寄り添った災害対策の推進

「ポストコロナ新時代」の住宅政策の羅針盤として、SDGsの達成に貢献!